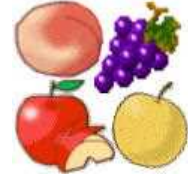




# 平成30年度 果樹情報 第15号

(平成30年10月18日)

福島県農林水産部農業振興課



## 1 気象概況 (10月前半：果樹研究所)

平均気温は、平年と比較すると1半旬が19.7℃で1.9℃高く、2半旬が20.4℃で4.7℃高く、3半旬が14.6℃で1.3℃低く経過しました。

この期間の降水量は46.0mmで平年の74%でした。

## 2 生育状況 (10月15日時点：果樹研究所)

### (1) りんご

#### ア 果実肥大状況

りんご「ふじ」の暦日比較では、縦径が100%、横径が103%と平年並で、満開後日数による比較でも平年並です。

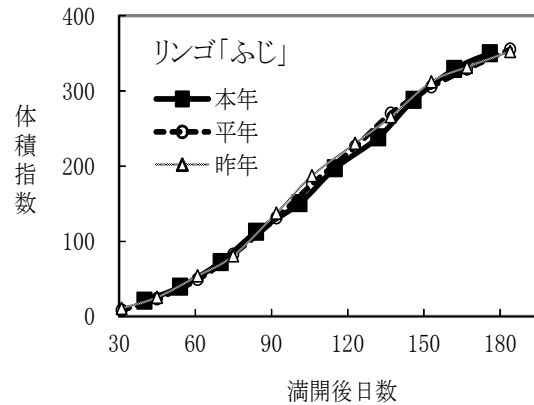


図1 りんご「ふじ」の果実肥大

#### イ 「ふじ」の裂果発生状況

10月10日 (満開後171日) 現在、外部裂果率はマルバカイドウ台 (16年生) で3.3%でした。また、内部裂果を含めた裂果発生率は26.6%でした。

表1 「ふじ」の裂果状況 (10月10日現在)

調査樹	樹齢	外部裂果率(%)					裂果発生率(%)				
		H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
ふじ/マルバ	16年生	3.3	5.0	8.3	4.1	10.4	26.6	40.0	35.0	23.3	35.4

※ 調査規模:3樹の目通り付近から30果採取した。

※ 外部裂果率:つる割れ、浮皮等の割合、裂果率:外部裂果+内部裂果の割合

#### ウ 「ふじ」の果実成熟状況

10月10日 (満開後171日) における「ふじ」の成熟は、果肉硬度が14.8ポンド、デンプン指数が3.2ではほぼ平年並に推移しています。

また、糖度 (° Brix) は14.0、リンゴ酸は0.37g/100mlとなっています。果皮のアントシアニン含量、クロロフィル含量は平年並、蜜入指数※は1.0で、平年より低く推移しています。

※りんごの蜜入指数: 指数1~5 数値が高いほど蜜入りが進んでいます。

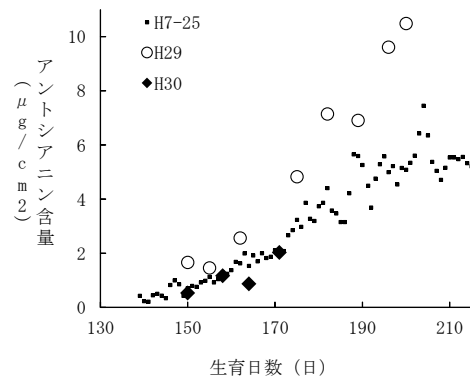


図2 「ふじ」のアントシアニン含量の推移

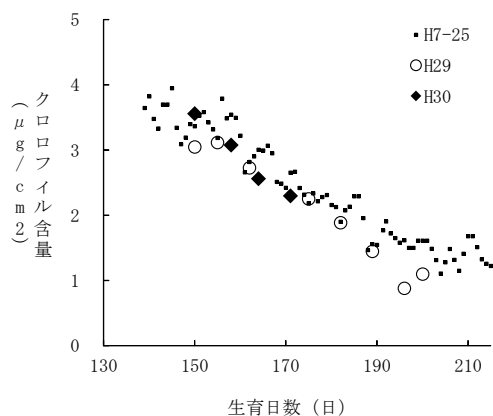


図3 「ふじ」のクロロフィル含量の推移

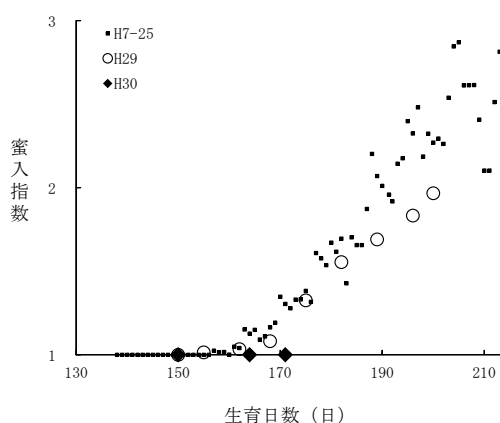


図4 「ふじ」の蜜入指数の推移

### エ 早生・中生品種の収穫期と果実品質

「つがる」の収穫盛は平年より7日早まりました。果実重は平年より大きく、糖度は平年よりも高い状況でした。

「シナノスイート」の収穫盛は平年より1日遅くなりました。果実重は平年より大きく、糖度は平年より高い状況でした。

表2 りんご早生・中生品種の収穫期と果実品質

品種	収穫始 (月/日)			収穫盛 (月/日)			収穫終 (月/日)			果実重 (g)			糖度 (° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/27	8/29	8/28	8/27	9/3	8/30	8/30	9/8	9/6	317	284	300	14.4	12.7	14.7
シナノスイート	10/10	10/5	10/3	10/10	10/9	10/11	10/10	10/14	10/18	399	331	326	15.3	14.7	14.6
陽光	10/10	10/16	10/16	未	10/18	10/18	未	10/20	10/25	354	335	351	15.0	14.0	16.0

※平年値は、「つがる」が1976～2013年、「シナノスイート」が2012～2016年、「陽光」が1985～2013年である。未は未確定。

### 3 栽培上の留意点

#### (1) りんご

##### ア 「ふじ」の収穫前管理

摘葉、玉回しは遅れないように実施しましょう。

##### イ 「玉林」の収穫

未熟果（緑色果）を収穫すると食味が劣るので、果面全体に果点（赤点）が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫しましょう。収穫適期は、果皮色が全体に黄色味を帯び、がくあ部付近にやや緑色が残っている状態の時です。果面から緑色が消えた果実は貯蔵性が低くなるので収穫遅れに注意しましょう。

##### ウ 「ふじ」の収穫

本年における「ふじ」の成熟は、気温が高めに経過したために蜜入りが遅れているものの、ほぼ平年並に推移していると考えられます。

収穫にあたっては、蜜入りの状態に加えて、果実の着色、地色および食味等により総合的に判断しましょう。

**病害虫の発生予察情報・防除情報**

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>